

臨床研究「綿形状吸収性人工骨の口腔領域使用による骨再生の促進に関する研究」について

筑波大学附属病院歯科口腔外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

今まで顎骨欠損への人工骨の移植は顆粒状の $\beta$ -TCPやハイドロキシアパタイトなどが使用されてきましたが操作性が煩雑で使用しにくい状況でした。綿形状吸収性人工骨はその形状から顆粒状の形態では填入しにくい箇所でも人工骨を填入しやすくなりました。整形外科領域では骨の新生に関する報告がありますが顎骨についてはその効果がわかっていません。本研究では綿形状吸収性人工骨を顎骨欠損部に使用したことで顎骨の再生への影響を明らかにすることを目的とします。

② 研究対象者

2022年4月1日から2025年3月31日までに当院で上顎骨形成術および顎骨腫瘍摘出術を受けた患者さん

② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2027年3月31日まで

③ 研究の方法

本学附属病院歯科口腔外科において上顎骨形成術および顎骨腫瘍摘出術を行った患者さんが対象です。手術をした後の顎骨の骨の状態についてレントゲンと歯科用CTで評価を行います。レントゲンも歯科用CTも通常の診療で撮影するもので、研究用に新たに撮影することはありません。また上顎骨形成術の場合、手術後約1年後にプレートを除去する手術を行います。その際に顎の骨のでき方について視覚的に評価を行います。また余剰にできた顎の骨の整形をすることがありますがその骨については病理組織検査を行います。これも通常の診療の範囲で骨が余剰にできていない場合など整形は行いませんのでこの検査を行うことはありません。

④ 試料・情報の項目

診療記録、血液検査データ、パノラマエックス線写真、手術記録、歯科用CTについて調査を行います。

⑤ 試料・情報の第三者への提供について

なし

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

福澤 智

筑波大学附属病院 歯科口腔外科 病院講師

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停

止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：歯科口腔外科 担当 福澤

Tel 029-853-3291 (平日 9～17時)